

インドネシア旅行時の機内手荷物リスト

貴重品

パスポート	パスポートの残存期間が出国から6ヶ月以上あるか事前に確認しておきましょう。
ビザ (長期滞在者のみ)	インドネシア入国後30日以内の観光目的の場合、ビザなしで入国可能です。
航空券	無いと飛行機に乗ることができません。
海外旅行保険証	インドネシア滞在時の不足の事態に備え加入しておきましょう。
現金	インドネシアで使うルピアと出国前の空港で使う円の両方があると便利です。インドネシアのチップの相場はホテルの場合ポーターに10,000~20,000ルピア、レストランの場合食事代の5~10%ほどと言われています。一部の屋台ではクレジットカードが使えない場合がありますので、両替しておきましょう。
クレジットカード	サインレスの場合もあるので、暗証番号を確認しておきましょう。加盟店の多いVISAとMastercardを何枚か持っていくと高確率で使えるのでおすすめです。

通信関連

携帯電話 (スマートフォン)	飛行機の中では機内モードにすることをお忘れなく。
Wi-Fiレンタル または eSIM	インドネシアは行きたいお寺や食べたいフードがいっぱい！旅行中に調べて立ち寄れるよう、事前に通信環境を整えておくことが大切です。 『Wi-Fiレンタル』 日本国内の空港でWi-Fiレンタルを済ませて持ち歩きましょう。インドネシアで使える海外Wi-Fiレンタルなら、「WiFiBOX」がおすすめ。WiFiBOXは、自販機感覚で驚くほど簡単に受け取れる新しいWi-Fiレンタルです。 『eSIM』 eSIMの利用もおすすめです。eSIMであれば、無駄な荷物が増えることなく、インターネットを海外でも利用できます。「eSIM square」は、インドネシアで使えるプランを多数取り扱っています。
モバイルバッテリー	必ずスーツケースでなく手荷物に入れましょう。荷物を減らしたい方は、モバイルWi-Fiとモバイルバッテリーが1台に内蔵されているWiFiBOXがおすすめ。

機内グッズ

スリッパ	飛行機では足がむくんで疲れがち。脱ぎ履きしやすい靴やスリッパを準備しましょう。
機内快適グッズ	ネックピロー・アイマスク・耳栓等を用意し、快適な空の旅を！
歯ブラシ・歯磨き粉	歯磨き粉は液体物に入ります。小さいものを持っていきましょう。 ※液体物は100ml以下の個々の容器で、それらの容器を1ℓ以下のジッパー付き透明プラスチック袋に入れましょう。
上着	機内だけでなく、乾季の朝晩やクーラーが強めの施設の対策として、温度調節ができるようコンパクトなものがひとつあると便利です。薄手の長袖のものだと日焼け対策としても効果的。
メガネ・コンタクトレンズ	うっかり忘れてしまいがちですが搭乗券の確認やカードの記入ができるよう、必要な方をご準備を。

乾燥対策グッズ	機内は乾燥するので、リップクリームや目薬を準備しましょう。固体のリップクリームは問題なく持ち込み可能、目薬も医薬品として申し出れば液体物の制限外となります。
使い捨てマスク	乾燥と新型コロナウイルス対策として持っておきましょう。滞在日数に合わせて、予備もお忘れなく。

あると便利なアイテム

ボールペン	持っておくと、座席での入出国カード記入がスムーズです。
ティッシュ・ウェットティッシュ	インドネシアでは日本のようにティッシュやウェットティッシュ入手できる機会は少ないです。屋台での食事時やトイレットペーパーが無いトイレでも使えるので、いくつか持つておきましょう。
アルコールスプレー・除菌ティッシュ	旅行中はいつでもどこでも手を洗えるとは限りません。新型コロナウイルス対策として、滞在日数によって複数持つていきましょう。
セキュリティポーチ	服の下につけられるポーチです。貴重品管理に使いましょう。
エコバッグ	インドネシアのコンビニやスーパーの多くではレジ袋の配布が禁止されています。お買い物時に、ひとつバッグに入っていると便利です。
カメラ・SDカード	旅の思い出を持ち帰る手段はお土産だけにあらず。スマホの代わりにカメラで写真を撮つてみるのもおすすめです。SDカードも忘れずに。

インドネシア旅行時のスーツケース中身リスト

旅行グッズ

スーツケースベルト	スーツケースが開いてしまうことを防ぎます。スーツケースに巻き付けるようにつけておきましょう。
USB充電器・充電ケーブル	カメラやスマートフォン等各電子機器の充電器をお忘れなく。なおインドネシアは日本のコンセントの形や電圧と同じため、変換プラグは不要です。USBが複数口さるものを持っていくと、一度にスマホとWi-Fi、カメラの充電ができるので便利です。
変圧器	インドネシアの電圧は220Vと日本の電圧（100V）より高いので、「100V-240V」と表記のある電化製品以外を使う可能性があれば、変圧器を持っていきましょう。また、インドネシアのコンセントは丸い2つの穴がついているC型です。日本のもの（A型）と異なるため、変換プラグも準備しておきましょう。
圧縮袋	インドネシアには魅力的なお土産がたくさん。荷物が増えるので、何枚か入れておけば安心です。
顔写真のコピー	パスポートを紛失した際の再発行に使います。2枚ほどあると安心です。
証明書やパスポートのコピー	紛失時に備え、コピーしてスーツケースに入れておきましょう。

バス・洗濯用品

タオル	多めに持っていくとお土産を守る緩衝材に使えます。濡らして干しておけば簡易的な乾燥対策にも◎。
ハンガー	ホテルによっては無いことも。洗濯用にも持つていきましょう。

洗濯グッズ	長期滞在の場合、洗濯すれば持っていく荷物を減らせます。お気に入りの洗剤はもちろん、大事な服を洗う際はダメージを防ぐため洗濯ネットがあると安心です。
シャンプー・リンス・石鹼	インドネシアのホテルによってはないことも。普段使っていないものだと、髪がキシキシしたり肌に合わなかつたりとトラブルの元になることもあるので、小さいサイズのものを持っていきましょう。
化粧品・スキンケア用品	インドネシアで買ったものが肌に合わないこともあります。心配な方は持っていきましょう。
髭剃り・シェービングフォーム	日本のホテルと同じく、インドネシアでもアメニティーとして置いていないことがあります。スーツケースに入れて持っていきましょう。
爪切り	長期滞在の方は使い慣れたものがあると便利です。ニッパー型のものは手荷物だと没収対象のためスーツケースに入れて持っていきましょう。なお、クリッパー型のものは機内への持ち込みも可能です。

衣類系

着替え	滞在日+1着あると、汚した時やパジャマ代わりに使えます。基本的には日本の夏服の装いが過ごしやすいですが、露出度の高いものは控えましょう。
下着・靴下	滞在日+1着あると安心です。滞在日が長い場合は洗濯も視野に。
ジャケット	フォーマルな場所に行くときに役立つアイテム。高級なレストランへ行く予定のある方は襟付きシャツ・長ズボン・革靴とセットで持っていると安心です。
水着	インドネシアのバリ島に行ったら、ビーチへ足を運びたいところ！日本から持っていく、あるいは現地で購入しましょう。
帽子	特に乾季の日差しが強いので、日焼け対策として持っていきましょう。突然の雨には傘代わりとしても大活躍です。
サングラス	インドネシアは乾季の日差しが特に強いので、帽子・日焼け止めとセットで持っていきましょう。現地でおきにいりのデザインのものを購入しても◎。
雨具	雨期はほぼ毎日、乾季は週に何度かスコールが降ります。常に折り畳み傘やレインコートを携帯しておくと安心です。スコール対策にサンダルを持ち歩くのもおすすめです。

あると安心な日用品

日焼け止め	インドネシアは乾季の日差しが特に強いです。インドネシアのドラッグストアでも売っていますが、使い慣れたものが良いという方は日本から持っていきましょう。
コンタクトの洗浄・保存液	目薬同様医薬品として申し出れば液体物の制限外となりますが、申し出が手間と感じる方は事前にスーツケースに入れておきましょう。
常備薬	日本から飲み慣れたものを持っていきましょう。特に胃腸薬はお忘れなく。
虫よけスプレー	インドネシアには蚊がおり、刺されるとデング熱に罹ってしまうこともあります。予防のために持っていく、あるいは現地購入しましょう。
生理用品	すぐに買えない、品質が良くない場合があります。予備に3日分ほど持っていきましょう。
ジップロック・輪ゴム	食べかけのものを保存するのに大活躍です。複数枚持っていきましょう。